

令和 6 年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	公共施設等再生可能エネルギー導入可能性調査事業
補助事業者名	六ヶ所村
補助事業の概要	我が国のグリーン成長を背景に、六ヶ所村における地域エネルギー会社設立に係る調査・検討を通し、エネルギー構造高度化に係る地域住民等の理解促進と、地域の安定的かつ適切なエネルギー需給構造の構築を図るため、公共施設等再生可能エネルギー導入可能性調査事業を実施した。
総事業費	26,867,500円
補助金充当額	26,867,500円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	<ul style="list-style-type: none"> ●屋根置き型太陽光発電設備等 10 公共施設における事業採算性を踏まえた導入計画書(案)が取りまとめられていること。 ●野立て太陽光発電設備等 3 候補地における事業採算性を踏まえた導入計画書(案)が取りまとめられていること。
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<p>本調査結果については、エネルギー構造の高度化等に向けた地域住民等の理解促進に必要な範囲において、本事業の全部又は一部を村 HP へ掲載し、広く地域住民等へ周知した。</p> <p>地域エネルギー会社と連携した公共施設等への再生可能エネルギー導入を契機とし、低炭素電力の村内供給等による地域の産業競争力の強化、新たな産業や雇用の創出及びエネルギー産業人材の育成に繋がることを確認した。</p> <p>屋根置き型太陽光発電設備導入量調査については、当初予定していた 10 施設のうち、学校の統廃合計画の検討が進められている 1 施設を除外し、また、野立て太陽光発電設備導入量調査については、3 候補地のうち、緑地保全のため 1 候補地を除外したが、太陽光発電設備等導入による事業採算性を評価するにあたり調査対象数を減らすことは、村の電源計画に遅れを生じさせることから、野立て太陽光発電設備導入量調査地点を 2 地点追加した。</p> <p>当初と同じく合計 13 箇所の調査を行ったことから、調査箇所の変更ともなう事業への影響はなく、目標を達成できたほか、太陽光発電設備の設置にあたり樹木の伐採等が発生しない候補地へ変更を行うことにより、再エネ設備導入による環境への負荷が抑えられ、エネルギー構造の高度化に向けた地域住民等の理解が促進された。</p> <p>また、公共施設等への効率的・効果的な再生可能エネルギー設</p>

	備導入に係る調査・研究を通し、エネルギー構造高度化に係る地域住民等の理解促進と、地域の安定的かつ適切なエネルギー需給構造の構築が図られた。	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	屋根置き型太陽光発電設備等 太陽光発電容量：955kW 蓄電池容量：480kWh 野立て太陽光発電設備等 太陽光発電容量：4,188kW	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	令和6年度事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況として、5年間の設備導入計画を以下のとおりとりまとめた。 屋根置き型太陽光発電設備等（累計） 太陽光発電容量：1,271.385kW 蓄電池容量：115.2kWh 野立て太陽光発電設備等 太陽光発電容量：1,769.04kW 蓄電池要領：5,000kWh	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	再生可能エネルギー導入に係る専門的な知見を活用するため。
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社ナレッジリーン
	契約金額(間接補助金額)	26,867,500円
来年度以降の事業見通し	令和7年度以降は、今年度の調査結果を元に実施設計や再生可能エネルギー設備設置工事を行い、自前電源を用いた公共施設等への再生可能エネルギー導入を契機とした低炭素電力の村内供給等による地域の産業競争力の強化、新たな産業や雇用の創出及びエネルギー産業人材の育成に繋げることとしている。	